

平成30年白老町議会民族共生象徴空間整備促進・  
活性化に関する調査特別委員会会議録

平成30年 3月 6日(火曜日)

開 会 午前10時11分

閉 会 午前10時20分

---

○会議に付した事件

1. 白老駅北地区整備事業に伴う地域文化・観光研修センター事業について

---

○出席委員(13名)

委員長	小西秀延君	副委員長	及川保君
委員	山田和子君	委員	吉谷一孝君
委員	広地紀彰君	委員	吉田和子君
委員	氏家裕治君	委員	森哲也君
委員	大淵紀夫君	委員	本間広朗君
委員	西田祐子君	委員	松田謙吾君
委員	前田博之君	議長	山本浩平君

---

○欠席委員(なし)

---

○説明のため出席した者の職氏名

町	長	戸田安彦君
副	町長	古俣博之君
副	町長	岩城達己君
教	育長	安藤尚志君
総	務課長	岡村幸男君
財	政課長	大黒克己君
企	画課長	高尾利弘君
象	徴空間整備統括監	笠巻周一郎君
経	済振興課長	森玉樹君
農	林水産課長	本間力君
生	活環境課長	山本康正君
町	民課長	畑田正明君
税	務課長	久保雅計君

上下水道課長	工藤智寿君
建設課長	小関雄司君
健康福祉課長	下河勇生君
高齢者介護課長	田尻康子君
学校教育課長	岩本寿彦君
生涯学習課長	武永真君
消防長	越前寿君
病院事務長	野宮淳史君
代表監査委員	菅原道幸君

---

○職務のため出席した事務局職員

事務局長	高橋裕明君
書記	葉廣照美君

---

### ◎開会の宣告

○委員長（小西秀延君） これより民族共生象徴空間整備促進・活性化に関する調査特別委員会を開会いたします。

（午前10時11分）

---

○委員長（小西秀延君） 本日の委員会の日程についてであります。

先ほど開かれました議会運営委員会において、開催が決まりました本委員会ですが、議題は白老駅北地区整備事業に伴う地域文化・観光研修センター事業についてであります。

それでは町側からの説明を求めます。

岩城副町長。

○副町長（岩城達己君） 急遽、特別委員会を開催いただき誠に申し訳ございません。きょうご説明する内容でございますが、去る2月14日開催の民族共生象徴空間整備促進・活性化に関する調査特別委員会において、仮称地域文化・観光研修センターの建設に関する費用を補正予算として、平成30年定例会3月会議にご提案する旨答弁いたしました。本件については提案することを見送ることといたしました。このことは特別委員会での議論やご意見を十分に踏まえたこと。また提案者として建設規模や維持管理費の精査が十分でなかったことなどを反省し、ご提案できないと判断したところでございます。今後は新年度に駅北地区の整備計画を町としてまとめますが、今一度原点に立ち返って十分、内容を精査する考えであります。このたびの代表質問、並びに一般質問において、本センター整備に関する質問通告がありながら、本事業を見送る結果を招いたことは、議会、議員皆様大変ご迷惑をおかけしましたことを心からお詫び申し上げます。誠に申し訳ありません。

○委員長（小西秀延君） ただいま説明がありましたが、この件について地域文化・観光研修センターの事業を3月会議に上程すると言ったことを取りやめるということについてであります。そのことについて質疑を承りたいと思います。この研修センターの内容については特別委員会等で別途に受けつけたいと思いますので、この取りやめの件についてだけご質問をお受けしたいと思いますが、どなたか質疑をお持ちの方。

11番、西田祐子委員。

○委員（西田祐子君） 11番、西田でございます。おはようございます。今の取り下げの件ということに関しましては、よくわかりました。そのことの件で今回白老町長の町政執行方針、これの12ページの観光業というところの9行目から、またアイヌ工芸品等の生産、研修活動の拠点として、観光インフォメーションセンターと物販機能を兼ね備えた、仮称地域文化・観光研修センターの整備を進めると共にと書いているわけなのです。ここの部分をどうされるのか、それをお伺いしたいと思います。

○委員長（小西秀延君） 岩城副町長。

○副町長（岩城達己君） 執行方針、これから述べることとなりますが関連ありますので、お答え

申し上げます。執行方針上はあくまでも建設に向けた姿勢を述べるということになりますので、30年に建設にすぐ入るということではないというふうに捉えていただきたいと思います。前段では基本計画をつくるですとか、駅北整備全体の整備計画を町としてまとめるという部分での位置づけもございまして、掘り下げた内容というのはまだまだ時間をかけて議会のほうにもご提案申し上げなければなりませんけれども、その前段としてやはりそういう方向性の必要性があるということを述べる。きょうの予定されている本会議の執行方針の中では述べる考えでございます。

○委員長（小西秀延君） 4番、広地紀彰委員。

○委員（広地紀彰君） 4番、広地です。この今回の状況については理解できました。それで、ここで確認なのですが、この影響についてですが、補助金の関係、そして町債にかかわる交付税措置等のさまざまな国や道との協議や措置のほうの協議も進んでいたやに聞いていました。ここまで尽力されてきた町の職員の方たちは正月返上の中でここまで事業構築に取り組んできて、ただ、その状況をさらに原点に立ち返ってということは理解できます。ただ、その影響をどのように整理をして、そして今後スケジュールとしては30年度すぐに着工とはならないということは聞いたのですけれども、センターの建設自体に対しての考え方について、再度確認を込めて。

○委員長（小西秀延君） 岩城副町長。

○副町長（岩城達己君） まず影響でございますが、国のほうでは交付決定を打ってきている状況ではまだありません。ですから町の状況を北海道を経由して、国のほうに申し上げております。確かに生産性革命の拠点整備の交付金ということで、2分の1の交付金があつて、残り2分の1は補正予算債としての、非常に町の財政事情に対しては有利という部分があるのですが、その点については特別委員会、またきょうの説明の中にも申し上げたとおりですので、建設自体、その内容、維持管理も含めた中の精査が我々としては十分ご説明できるに至っていないという部分を判断したので、この件については議会のほうにはご提案できないという判断に立った部分でございますが、ただ、国、道に対してはこれまでもそうですが、今後もこういった部分は私どもも丁寧に事情を説明した中で、やはりまちで建設するからにはしっかりと地固めをして、だからこういう部分で補助金なり、交付金を取りにいくということをやはり順を追ってやっていかなければならないかと。そういう反省点に立ってここを取り組んでいきたいというふうに考えてございます。なお、これまでの特別委員会でも申し上げたとおり、インフォメーション機能は必要というふうに考えていますので、駅北整備全体をことし30年度にまとめる考えでございますので、その位置づけをやはりどこにするか。どういう部分と兼ね備える方法もあるかというふうに思いますけれども。そういった点ももう一度返って見直しをしながら、特別委員会でご提案していきたいというふうに考えてございます。

○委員長（小西秀延君） ほかに質疑をお持ちの方。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（小西秀延君） 質疑なしと認めます。

次回開催は別途、通知したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員等（小西秀延） ご異議なしと認めます。

次回、本特別委員会の開催は別途通知することといたします。

---

◎閉会の宣告

○委員長（小西秀延君） これをもって、本日の特別委員会は閉会いたします。

（午前10時20分）